

平成28年度

シ ラ バ ス



2 学 年

北海道おとねっふ美術工芸高等学校

教科名	国語	科目名	国語総合	学年	2 学年
教材	教科書	新編 国語総合		単位数	2
	副教材	常用漢字の1・2トライ		履修区分	共通
学習の目標	1 話す・聞く能力、書く能力、読む能力を総合的に育てます。				
	2 言語事項に関する知識、理解を深めます。				
	3 国語への関心・意欲・態度を育てます。				
学習の進め方	1 小テストを実施し、ワークシートや單元ごとにワークを行います。				
	2 現代文（随想・小説・評論・詩歌）を読んで、それぞれの作品に対する理解を深めます。				
	3 古典（古文・漢文）を読んで独特のリズムを味わい、古人の考え方を学びます。				

期	月	單元名	具体的な学習内容	備考欄
前	4	○オリエンテーション ○日本語を見つめる ○詩歌との出会い	・国語総合の学習について ・季節の言葉と出会う ・短歌、俳句	学習規律の徹底 ※單元ごとにワークを確認。
	5	○自然に目を向けて	・ペンギンはなぜ一列になって歩くのか？	
	6	○唐詩のしらべ	・春眠暁を覚えず	
		○随筆の楽しみ	・奥山に猫またといふもの	[中間考査] ノート提出
	7	○小説を楽しむ	・バスに乗って	
		○物語の世界	・芥川	
	8	○小説を味わう	・水かまきり	
		○孔子のことば	・学問のすすめ	
	9	○物語へのいざない	・鶏鳴狗盗	[期末考査] ノート提出

前期目標				
後	10	○読書を広げる	・夢十夜 ・鏡	
	11	○物語へのいざない	・人面桃花	
	12	○物語の世界	・平家物語	[中間考査] ノート提出
		↓	↓	
	1	○論理をはぐくむ	・政治の本質	[学年末考査] ノート提出
	2		・いたずらー大人への挑戦	
		3		
後期目標				

評価方法	・定期考査・小テストの成績、課題やノートの内容や提出状況、日常の授業への参加態度等で評価します。				
	・国語科の観点別学習状況の評価の5観点に立ち総合的に評価します。				
評価の観点	【関・意・態】	・国語や言語文化に対する関心を持っているか。積極的に授業に参加しているか。			
	【話・聞】	・自分の考えを深め、目的や場面に応じた話し方、聞き方が出来るか。			
	【書】	・自分の考えを深め、相手や目的に応じた適切な文章を書けるか。			
	【読】	・自分の考えを発展させながら、目的に応じた文章の読み取りが出来るか。			
	【知・理】	・表現、理解のための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字を身につけたか。			